

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年12月06日

計画の名称	快適で活力ある暮らしを実現するための流域下水道基盤整備(重点)												
計画の期間	平成30年度 ~ 平成31年度 (2年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	群馬県												
計画の目標	水源県の責務として早期に下水道処理人口普及率を向上させて生活環境の改善を推進するとともに、公共用水域への汚濁負荷量削減を図り河川等の水質改善に寄与する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,776	A	1,776	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30		H31
1	下水道処理人口普及率			
	下水道処理人口普及率 = 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)	54%	%	55%
2	汚水処理人口普及率			
	汚水処理人口普及率 = 汚水処理施設を利用できる人口(人)/総人口(人)	80%	%	83%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
1.「快適で活力ある暮らしを実現するための基盤整備」及び3.「防災・減災を推進し住民の命と暮らしを守るための基盤整備」計画と相互に密接する計画であり、成果目標を一体的に検証する。														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	群馬県	直接	-	終末処理場	新設	(奥利根)汚泥処理施設 (A1-1-2)	ホッパー増設 N=1基	沼田市						19	-	
	A07-002	下水道	一般	群馬県	直接	-	終末処理場	新設	(県央)処理場(A1-2-10)	受変電設備増設	玉村町							219	-
	A07-003	下水道	一般	群馬県	直接	-	終末処理場	新設	(佐波)水処理設備(A1-6-2)	水処理第2系列 10,900m ³ /日	伊勢崎市他							30	-
	A07-004	下水道	一般	群馬県	直接	-	管渠(汚水)	新設	(佐波)伊勢崎幹線外(A1-6-3)	污水管 800~1,100 L=7,800m	伊勢崎市							1,508	-
	小計																	1,776	
	合計																	1,776	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 群馬県県土整備部下水環境課が担当となって事後評価を行う。	事後評価の実施時期 令和4年度
	公表の方法 県のホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道処理人口普及率の向上により、生活環境改善の推進や公共用水域への汚濁負荷量削減が図られ、河川等の水質改善に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	-
特記事項（今後の方針等）	
汚水処理人口普及率概成に向けて、次期計画においても引き続き取り組んでいく。	

